

| | | | |
|--------|---|-------------|-------------------------------|
| 科目タイトル | 化学物質総合評価学概論1 | | |
| 科目概要 | 化学物質及び化学物質を含む製品について、その生産、輸送、利用及び廃棄に至るまでの過程におけるリスク評価手法の全般を理解することを目的とし、化学物質の環境中挙動を知るための試験手法の概要を紹介するとともに、環境中生物及びヒトの健康に対する化学物質の有害性を確認するための手法の概要を解説する。 | | |
| | 共催機関名:化学物質評価研究機構 | レベル:【専門・基礎】 | 講義枠:土 14:00-15:30,15:50-17:20 |

| サブタイトル | No. | 講義タイトル | 講義概要 | 講義日 | 教室 | 講師名 | 所属 |
|-------------|-----|------------------------|--|----------------------|----------------|------|------------|
| はじめに | 1 | はじめに | 講義目的、講義概要、評価方法、学習の補助資料などに関するガイダンスを行う。化学物質の総合評価の必要性及びリスク評価の国際的動向について解説する。 | 9/18 14:00-15:30 | 共①101 | 高月峰夫 | 化学物質評価研究機構 |
| リスク評価の概要 | 2 | リスク評価学基礎 | リスク評価書の実例を紹介し、暴露評価結果及び有害性評価結果を用いてリスク評価を実施する手順について解説する。 | 9/18 15:50-17:20 | 共①101 | 石井聡子 | 化学物質評価研究機構 |
| 暴露評価 | 3 | 化学物質の環境残留性(生分解性) | 化学物質審査規制法における生分解性の位置づけ及び残留性有機汚染物質(POP's)に対する国際的取組みを紹介する。また、生分解性試験法の概要を説明するとともに生分解性予測システムの概要について解説する。 | 9/25 14:00-15:30 | 共①101 | 高月峰夫 | 化学物質評価研究機構 |
| | 4 | 化学物質の生物濃縮性 | 化学物質審査規制法における生物濃縮性の位置づけを解説するとともに食物連鎖における生物濃縮性の位置づけを説明する。また、濃縮度試験法の概略を説明するとともに、生物濃縮性を予測するための構造活性相関手法について解説する。 | 9/25 15:50-17:20 | 共①101 | | |
| | 5 | 化学物質の環境中分布予測 | 化学物質の環境中における挙動を支配する要因を説明するとともに、環境分布予測のモデルについて概要を解説する。 | 10/2 14:00-15:30 | 共①101 | | |
| 環境中生物への影響評価 | 6 | 水生生物に対する毒性試験 | 藻類、甲殻類、魚類を用いた毒性試験の概要を説明するとともに、試験結果の分類法に関する国際的動向について解説する。 | 10/2 15:50-17:20 | 共①101 | | |
| | 7 | 陸生生物に対する毒性試験 | 陸生生物を用いた毒性試験方法の概要を説明するとともに、リスク評価における位置付けを解説する。 | 10/16 14:00-15:30 | 共①101 | | |
| | 8 | 構造活性相関の利用 | 構造活性相関手法の原理を説明し、生態影響評価における構造活性相関手法の利用例を解説する。また、構造活性相関手法の利用に関する国際的動向を解説する。 | 10/16 15:50-17:20 | 共①101 | | |
| | 9 | 内分泌かく乱作用が疑われる物質についての試験 | 化学物質の内分泌攪乱作用についての概要を説明し、環境中生物に対する内分泌攪乱物質作用の試験法開発状況について解説する。 | 10/23 14:00-15:30 | 共①101 | | |
| | 10 | 室内試験結果から生態影響への外挿 | 生態系とは何か、また、生態系への影響とは何かを説明し、初期段階で行われる生態毒性評価の方法である室内試験についての概要を説明する。さらに、個体を用いた試験結果から生態系の影響を外挿する場合の問題点について解説する。 | 10/23 15:50-17:20 | 共①101 | | |
| 人の健康への影響評価 | 11 | 皮膚・眼刺激性試験 | 各種試験方法の概要及び結果の評価方法について解説する。また、労働者の安全性を確保するための作業環境を整備するための基礎データや化粧品などの安全性を評価するための基礎データに利用されていることを解説する。 | 11/13 14:00-15:30 | 人間文化 6F大会議室 | 石井聡子 | 化学物質評価研究機構 |
| | 12 | 免疫毒性試験 | 各種試験方法の概要及び結果の評価方法について解説する。また、労働者の安全性を確保するための作業環境を整備するための基礎データとして利用されていることやシックハウス問題等社会的問題との関連について解説する。 | 11/13 15:50-17:20 | 人間文化 6F大会議室 | | |
| | 13 | 一般毒性試験 | 試験方法の概要及び結果の評価方法について説明する。また、化学物質のリスク評価における許容摂取量の推定等に利用されていることを解説する。 | 11/20 14:00-15:30 | 共①301 | 大塚雅則 | 化学物質評価研究機構 |
| | 14 | 繁殖毒性試験 | 試験方法の概要及び結果の評価方法について説明し、化学物質のリスク評価における許容摂取量の推定等に利用されていることを解説する。 | 11/20 15:50-17:20 | 共①301 | | |
| | 15 | 変異原性試験・発ガン性試験 | 試験方法の概要及び結果の評価方法について解説する。変異原性試験が化学物質の発ガン性予測のために利用されていることを解説するとともに、発がんメカニズムと発ガン性評価における国際機関の活動概要を解説する。 | 11/27 14:00-15:30 | 共①301 | | |